

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公表番号】特表 2002-544129 (P2002-544129A)

【公表日】平成 14 年 12 月 24 日 (2002.12.24)

【出願番号】特願 2000-616199 (P2000-616199)

【国際特許分類】

**C 0 7 D 405/06 (2006.01)**

**A 0 1 N 43/52 (2006.01)**

**A 6 1 P 33/02 (2006.01)**

**C 0 7 D 491/048 (2006.01)**

**C 0 7 D 491/056 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/4184 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 D 405/06

A 0 1 N 43/52

A 6 1 P 33/02 1 7 1

A 6 1 P 33/02 1 7 3

C 0 7 D 491/048

C 0 7 D 491/056

A 6 1 K 31/4184

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 23 日 (2007.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

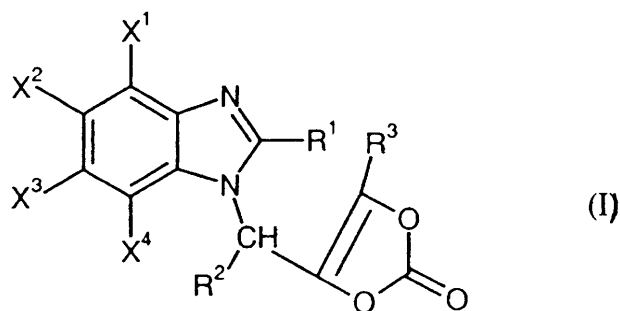
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I)

【化 1】



[ 式中、

R<sup>1</sup> はフルオロアルキルを示し、

R<sup>2</sup> は水素又はアルキルを示し、

R<sup>3</sup> はアルキルを示し、

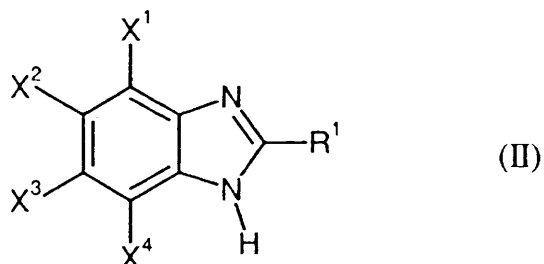
X<sup>1</sup>、X<sup>2</sup>、X<sup>3</sup> 及び X<sup>4</sup> は互いに独立して水素、ハロゲン、ハロゲノアルキル、ハロゲノアルコキシ、ハロゲノアルキルチオ又はハロゲノアルキルスルホニルを示すか、あるいはまた、

$X^2$ と $X^3$ 又は $X^3$ と $X^4$ は一緒になってジオキシハロアルキレンを示す]  
のベンズイミダゾール。

【請求項2】

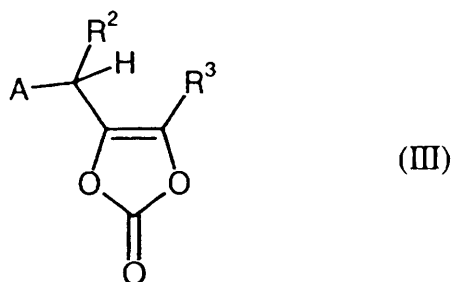
式(II)

【化2】



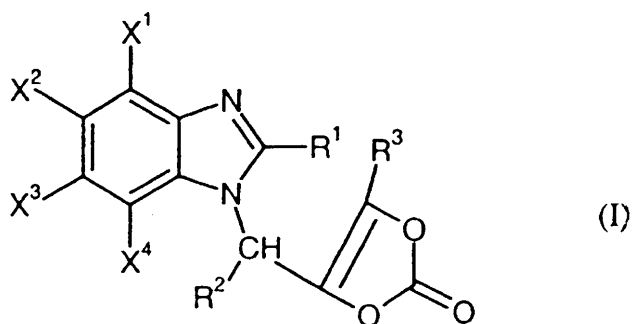
[式中、  
 $R^1$ 及び $X^1 \sim X^4$ は請求項1で示した意味を有する]  
の1H-ベンズイミダゾールを式(III)

【化3】



[式中、  
Aは適した離脱基を示し、  
 $R^2$ 及び $R^3$ は請求項1で示した意味を有する]  
のアルキル化剤と、適宜希釈剤及び/又は反応助剤の存在下で反応させることを特徴とする請求項1に記載の式(I)

【化4】



[式中、  
 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $X^1 \sim X^4$ は請求項1に記載された意味を有する]  
の化合物の製造法。

【請求項3】

請求項1に記載の式(I)の化合物の少なくとも1種を含有することを特徴とする組成物。

【請求項4】 請求項1に記載の式(I)の化合物を寄生虫に作用させることを特徴とする寄生虫の抑制法。

【請求項5】 抗寄生虫剤の調製のための請求項1に記載の式(I)の化合物の使用

。